



地域の環境課題解決に向けての取り組み

～ モビリティ分野の脱炭素化 ～

Life Design Developer



2026年7月29日

イオンモール株式会社

イオンモールについて

イオン株式会社 AEON Group Overview

基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する

グループ国内外 約300社

Approximately 300 Group Companies worldwide

店舗/拠点数 14カ国18,086店舗/カ所

18,086 Stores and Business Locations
across 14 Countries

グループ従業員 約67万人

Approximately 620,000 Employees

2026年2月期時点
As of February 2026

AEON

GMS（総合スーパー）事業

SM（スーパーマーケット）事業

DS（ディスカウント）事業

ヘルス&ウェルネス事業

総合金融事業

デベロッパー事業

サービス・専門店事業

国際事業

機能会社・その他

イオンモールについて

アジア各国へ出店しています。
現在も海外での事業規模を拡大しています。

総モール数 **201** モール

日本 **162** モール

中国 **23** モール

ベトナム **7** モール

カンボジア **3** モール
+ **1** 施設

インドネシア **5** モール

2026年5月現在



イオンモール フェ (ベトナム)

イオンモールについて

イオンモールまちのACTION！

まちのACTION! 6つの取り組み

まちのACTION!とは

イオンモールがお客さまと推進する
地域課題に関する取り組みのこと



《EV（電気自動車）充電器の設置》

2008年 イオンとして、イオンレイクタウンに初めてEV充電器を設置
2014年 イオンモールにおいて、EV充電器の設置を順次拡大
2018年 国内全モールへのEV充電器設置が完了

2025年 国内約139モールに設置完了
充電器数 1,341基（2025年2月末時点）

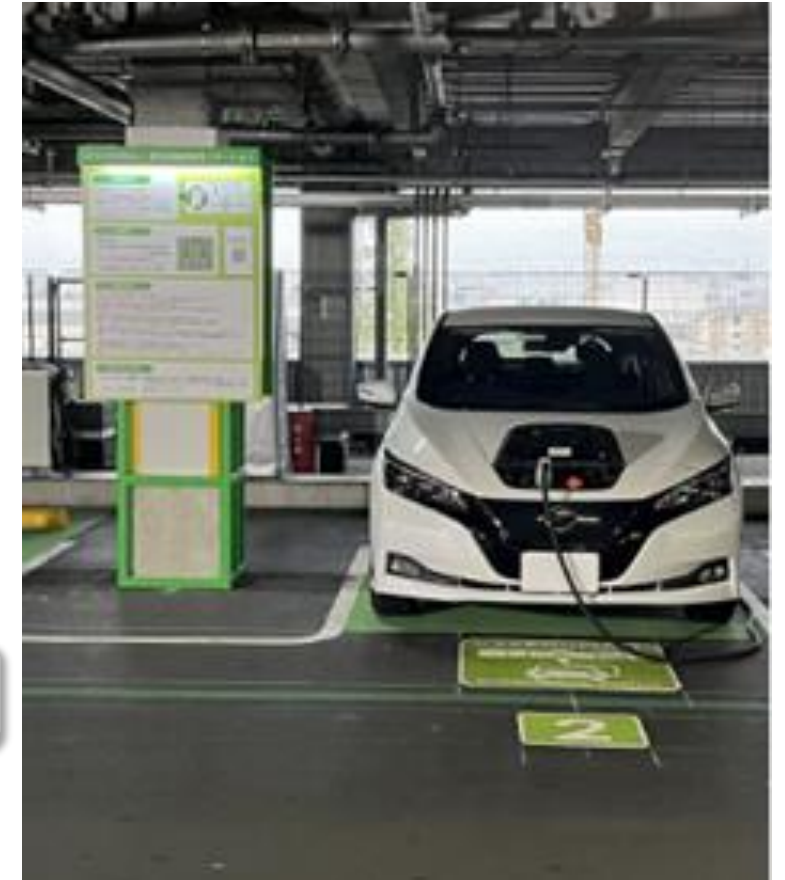
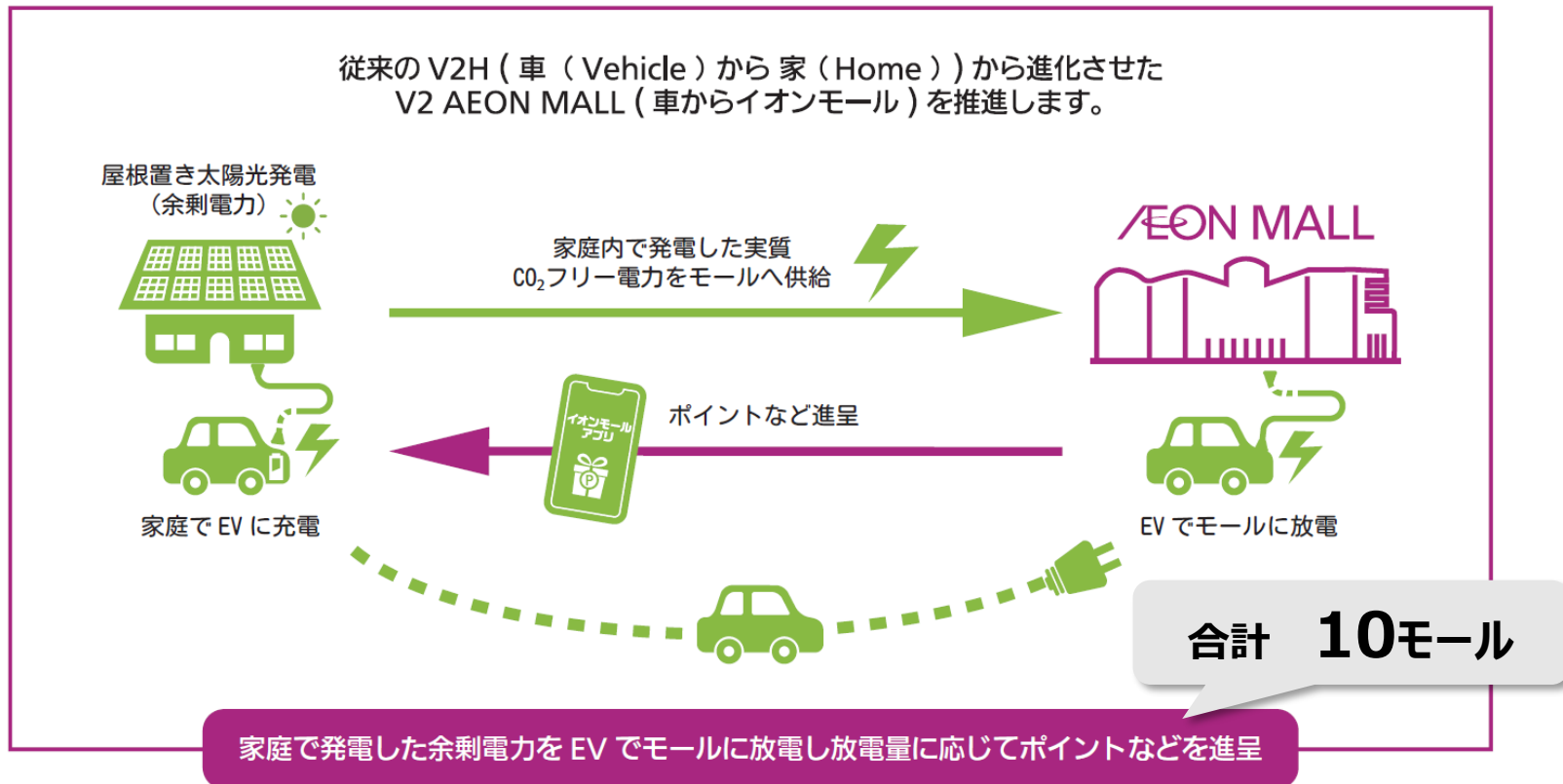


EV 100 へ正式参加（2017年11月、日本企業初）

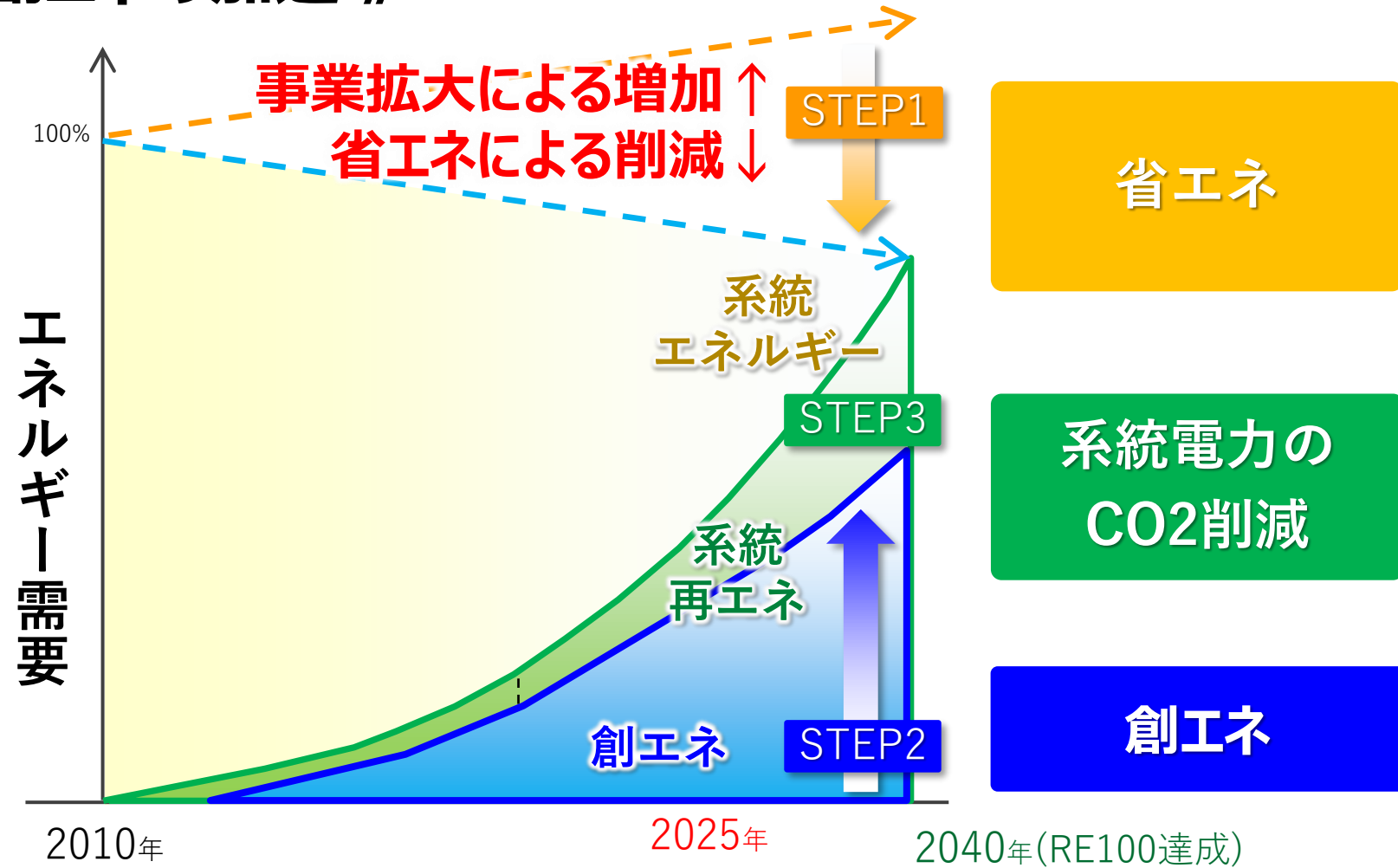
《お客さまとともにV2AEONMALLを推進》

家庭の余剰電力を、EVを通じてイオンモールの放電スポットにて
放電することで、ポイントを進呈。
貯まったポイントは買い物などで利用できる仕組みです。

お客さま参加型の再エネ循環プラットフォームを整えます



《 省エネと創エネの加速 》



2040年までに脱炭素化

《イオンモールの脱炭素ビジョン》

2025年度：各地域での再エネ直接契約による実質CO2フリー電力調達
2040年度：地産地消の再エネ（PPA手法含む）運営へ段階的切り替え
（直営モール約14億kwh/年）
浮体式洋上風力、水素エネルギー、蓄電池等の活用

《地域とともに地産地消の再生可能エネルギーを創出》

《イオン脱炭素ビジョン》

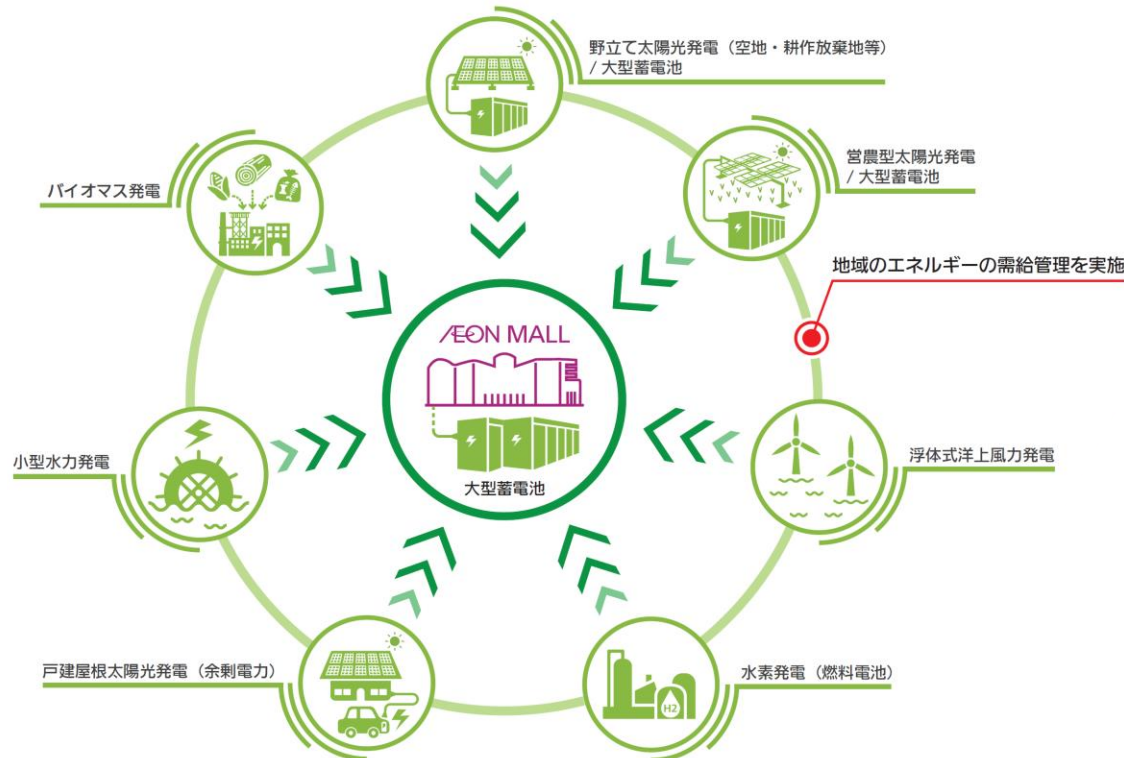
2040年までに店舗で排出するCO2等を総量でゼロ

※2018年策定、2021年改訂

店舗

商品・物流

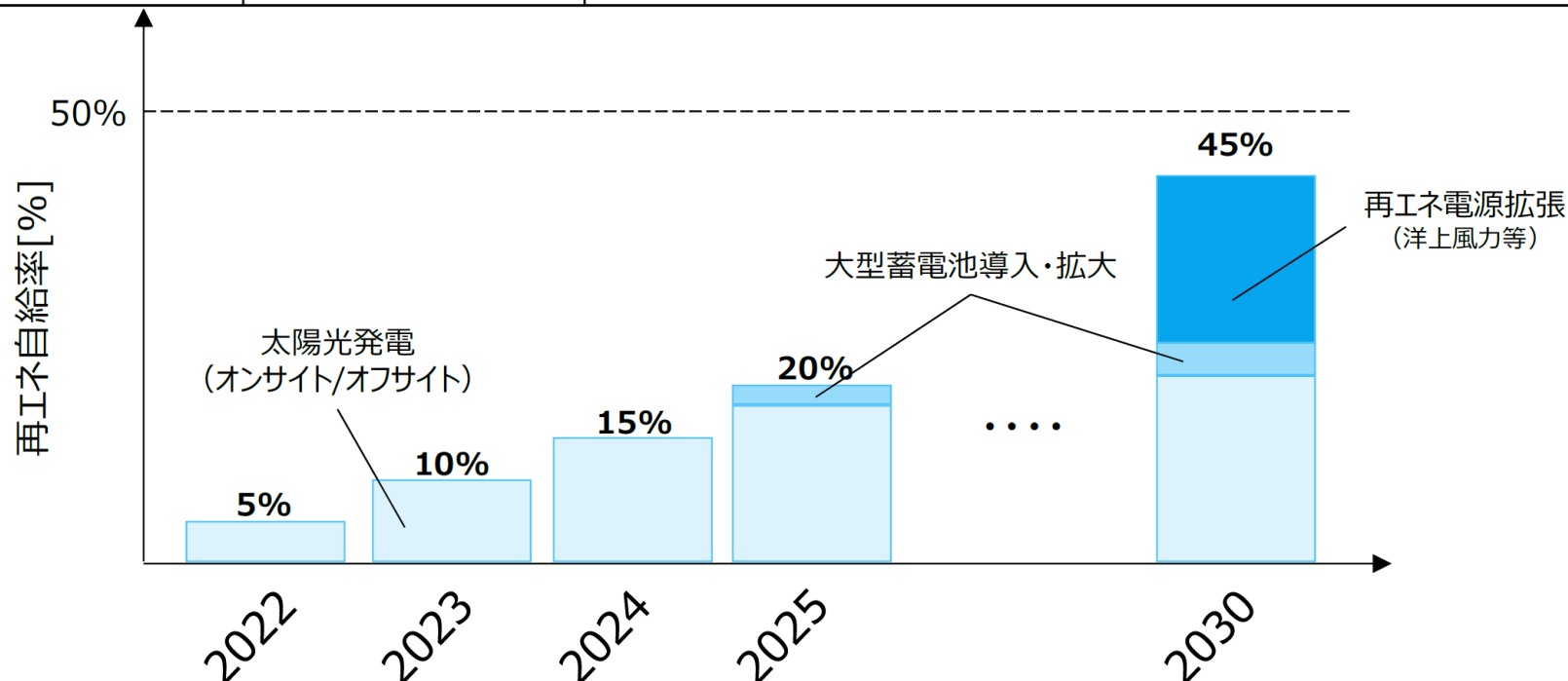
お客さまとともに



《2030年度までの具体的数値目標およびアクションを策定》

2023年8月9日ニュースリリースより

《年度》	《再エネ自給率》	《アクション》
2025年	20%	・ まちの発電所の再エネ電源調達網の拡大・ 大型蓄電池の導入
2030年	45%	・ まちの発電所の再エネ電源調達網の拡大 ・ 大型蓄電池の更なる導入、最適運用による高効率化 ・ 洋上風力等新たな電源確保に着手



《オンサイト(モール敷地内)発電》

国内全モールが25年度末CO2フリーに！ソーラーカーポートはお客さまにも環境にもやさしい

車内温度の違い

【ソーラーカーポートあり】

【ソーラーカーポートなし】

カーポート下：約38度

青空駐車：約54℃



【導入予定】

●2026年度：4モール

●2027年度：3モール

《オンサイト(モール敷地内)発電》 ソーラーカーポート



《オンサイト(モール敷地内)発電》 敷地内には最大限設置



太陽光路面発電



《イオンモール 「まちの発電所」の稼働》

1,390か所 に拡大

全国計：約 **60** 施設へ供給

総容量：約 **120** MW

＜オンサイト屋根上太陽光発電＞



＜オフサイト 低圧・分散型太陽光発電設備＞



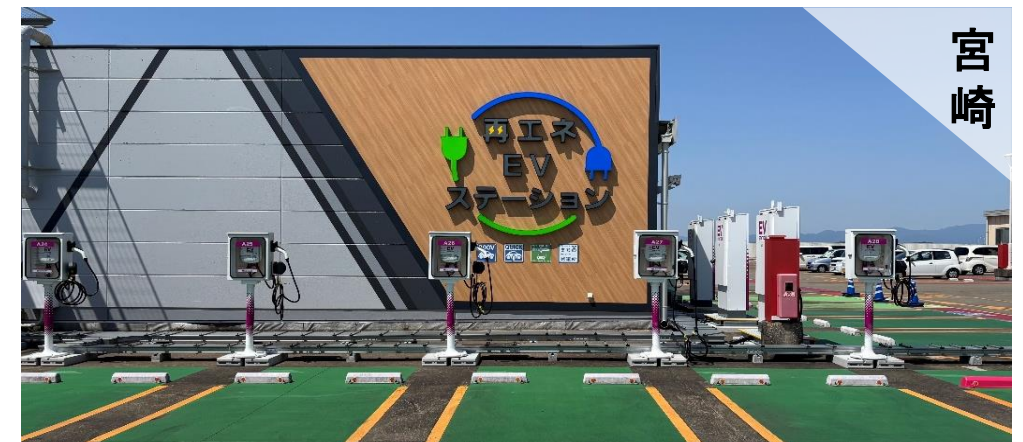
＜オフサイト ソーラーシェアリング＞

《全モール 再エネEVステーションへ》

実質CO2フリーの為、お客さまの車へ提供する電力は実質CO2フリー。
お客さまと一緒に脱炭素社会の実現を目指す。



須坂



宮崎

《東京大学と地域共生型サービス・交流・行動システムの検証》

イオンモール・東京大学社会連携講座
多様な主体が連携する持続可能な
地域共生型サービス・交流・行動システム

1. 脱炭素を先導する 地域エネルギーシステム



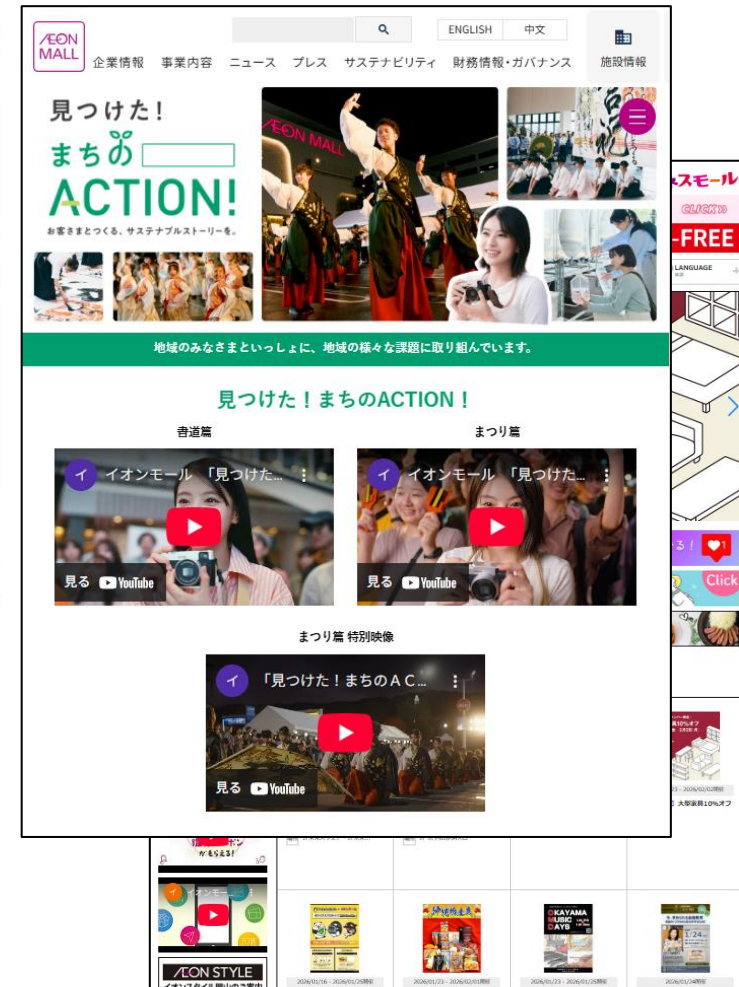
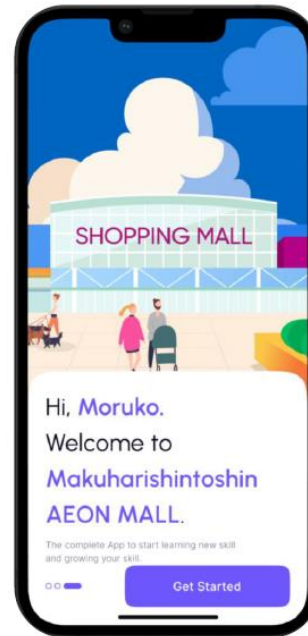
2. 脱炭素を実現する 行動施策の支援システム



“お客さまとともに”地域の環境課題解決へ お客さまの「環境意識」を「行動」に繋げたい！
笑顔で！しあわせな！暮らしができるよ！

見つけた！
まちの ACTION!

お客さまとつくる、サステナブルストーリーを。



地域共創業として「暮らしの未来」をつくるために



ご清聴いただき、ありがとうございました